

各種事業の進捗状況と今年度の取り組み内容

事業名／事業概要	事業主体	今年度（1年目）の目標	取り組み内容		問題・課題
			上半期	下半期	
しまんと街おこし応援団 設立 まちづくり活動の実効性を確保するため、まちづくり推進組織を立ち上げる。	ワーキンググループ 参加者／町民有志／地域おこし協力隊	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり推進組織の立ち上げ ・会員の確保（10名以上） ・各々の活動内容の確認のための定例会の開催 ・存続可能な組織作りの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・団体規約の作成、まちづくり推進組織の立ち上げ、設立総会の開催（4/10） ・メンバー募集（現在の会員は20名程度。積極的に活動を行っている会員は約10名） ・各種事業の専門部会の立ち上げ 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門部会ごとに事業の実施 ・存続可能な組織作りを考える（NPO法人への移行等） ・HP立ち上げ ・メンバー募集 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症による活動への影響 ・新規会員が少ない ・すぐに結果の出るものではないので地道な努力が必要
まち遊び 壮大なる「鬼ごっこ」等 窪川商店街付近をフィールドにした、大人も子供も楽しめるまち遊びを実施する。（既存のイベントと連携）	しまんと街おこし応援団	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会青年部と連携し、金太郎夜市の中で50m程度の流しそうめんを実施 ・既存のイベントと連携し、可能な範囲でミニイベントの実施、屋台の出店等を行う。 	<p>※新型コロナウイルス感染症の影響により、活動はできていない。</p>	<p>※イベントの再開状況により検討。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既存イベントと連携して実施することを想定していたため、新型コロナウイルス感染症の影響でイベントの開催自体が困難となった今、まち遊びの実施も困難。 ・イベント自体が再開しない限りまち遊びの実施も厳しい。
しまんと古書街道（しまんと40010冊プロジェクト） 全国から古本を集め、商店街と空き家を活用して古書街道をつくる（店先に統一デザインの本箱を設置し、テーマ性を持った古書の陳列、にぎわい拠点を兼ねた古書店の開店等）。	しまんと街おこし応援団／地域おこし協力隊	<ul style="list-style-type: none"> ・古書を四万十にちなみ40,010冊集めること。 ・古書街道の古書店を2店舗オープンすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本箱の作成 ・古書の寄贈を受ける ・古書街道1号店「あっと本町」オープン（7/7） ・「あっと本町」での古書の販売、貸出、読書（店内のみ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・旧福祉事業所あさぎりの借上げ ・2号店のオープン（～11月下旬予定） ・本箱作成及び本箱購入 ・町内1カ所程度に「街中ライブラリー」設置 ・古書の寄贈を受ける ・古書の登録、整理 ・古書の販売、貸出、読書 	<ul style="list-style-type: none"> ・借家不足で本の展示ができない。 ・「あっと本町」の店番不足。 ・ボランティアに賃金が払えない（ボランティア不足）。人件費の捻出。 ・ボランティア不足の対処方法の模索。 ・旧福祉事業所あさぎりの清掃等の経費の捻出。
にぎわい拠点づくり 町内の子どもたち、観光客らが気軽に立ち寄れる交流スペースを設ける。	しまんと街おこし応援団／駅前ゲストハウス	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の子ども達、観光客らが気軽に立ち寄れる交流スペースを設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の子ども達、観光客らが気軽に立ち寄れる交流スペースを設ける。 ・フリーwifiの設置。 	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点運営 ・POPアートを利用したにぎわい拠点のロゴを作り、各拠点の目印とする。 ・応援団の新ロゴの看板設置。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達がほとんど来てくれない。 ・新型コロナウイルス感染症の影響がどこまで続くかわからない。 ・空き家を借りることがなかなかできない。

事業名／事業概要	事業主体	今年度（1年目）の目標	取り組み内容		問題・課題
			上半期	下半期	
自由なアトリエ 町内人の自主イベント（講座・販売・展示等）支援。	町民有志	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度内にプログラム参加者を10人とする。 ・今年度内に参加者主催のイベントを1回以上開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「じゅうなアトリエ」に関心のあるスタッフの募集。 ※公開イベント中心の展開を見込んだため、新型コロナウイルス感染症の影響で9月末まで事業実施できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「じゅうなアトリエ」に関心のあるスタッフと中高生のペアを決めるイベントを実施（1月）。 ・講師や進行補助をお願いする地域の方の募集。 ・プログラムにおける成果物の設定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が取り組むプロジェクトの実施担当者についての体制が出来ていないこと。 ・講師陣が決定していないこと。
くぼかわ街あかり プロジェクト 風情ある街路灯を窪川市街地に整備し街中を照らす。	商工会／自治会／町／町民有志	<ul style="list-style-type: none"> ・灯籠の試作品の制作。 ・試作品の制作過程で参加者を募り、コアとなるメンバー（3～5名）を確保する。 ・商店街または協力して頂ける家の軒先に灯籠を設置する（目標5件）。 ・既存のイベントにまちあかりプロジェクトのブースを出店する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・試作品の制作（計7回実施）。 ・内子町への事例視察（10/16）。 ・灯籠DIYイベントの開催。 ・シェルシェ（星空映画館）での点灯テスト。 	<ul style="list-style-type: none"> ・灯籠の品質向上。 ・店舗、住宅での点灯実験。 ・岩本寺でのイベントの開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・素人が制作した作品の域を超えていないため、今後はもう一段上の品質を目指したい。
くぼかわ案内 MAP JR窪川駅前に観光案内板を設置する。	しまんと街おこし応援団／地域おこし協力隊	<ul style="list-style-type: none"> ・JR窪川駅を中心市街地の街歩きMAPを設置する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・窪川地域に詳しい人、協力者を選出。 ・MAPに載せる宿泊施設、カフェ、レストラン等の調査。 ・手書きMAP作成。 ・イラスト制作選定、イラスト制作依頼。 ・MAP設置場所の決定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イラスト制作との調整。 ・イラスト完成。 ・看板業者に設置依頼、設置。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。
くぼかわ発の 体験型観光事業 窪川発の四万十川観光の確立を目指し、自然体験、食、文化、地場産業を活用した体験型観光を充実させる。	しまんと街おこし応援団／観光協会／町	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな体験型観光の中身を見つけていく（商品開発）。 ・町外の方向けにモニターツアーの実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ※モニターツアーの実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で延期。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターツアーの実施。 ・先進地視察。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターツアーを実施したアンケートを取り、今後の展開を考えていきたい。 ・新型コロナウイルス感染症の影響がいつまで続くかわからない。 ・滞在型の観光事業となると、旅行業法にひつかってしまう。
チャレンジショップ事業 商店街の空き店舗を活用し、期間限定で取り組めるお試し起業への支援。	商工会	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジャーの育成・支援：創業支援プログラムの活用、個別経営指導 ・チャレンジ終了後の支援：空き店舗の確認、立ち上げ支援（助成金の活用） ・商店街活性化施策との連携：四万十町窪川地域中心市街地活性化協議会との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のためテイクアウト用のチラシ作成、四万十町ホームページへの掲載依頼。 ・持続化給付金の活用。 ・新店舗開業時の商工業振興助成金（空き店舗活用事業）の活用。 ・空き店舗の確認。 ・新規チャレンジャーの募集、問い合わせ対応。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規チャレンジャーへの経営指導。 ・商店街の活性化貢献と店舗PRも兼ねた地域イベントへの参加。 ・卒業後の開業へ向け空き店舗の確認。 ・開業時の助成金の活用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗はあるが、貸してもらえない店舗が多く新店舗候補が少ない。 ・新チャレンジャーの問合せはあるが、応募者が少ない。 ・ショップ運営状況の確認、経営面のサポート。